

三 下 第 1 7 6 号
令 和 0 7 年 0 9 月 1 2 日

国土交通大臣 殿

三田市長

社会資本総合整備計画の変更について

令和06年12月04日 付け 三下第264号 で提出した、社会資本総合
整備計画について、別添のとおり変更するので提出する。

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和06年12月04日

計画の名称	次世代に引き継ぐ三田の下水道に向けて（４）（防災・安全）											
計画の期間	令和07年度～令和11年度（5年間）										重点配分対象の該当	
交付対象	三田市											
計画の目標	下水道施設の計画的な整備・再構築により市民の暮らしを守る。											
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	2,042	A	2,042	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0 %

番号	計画的成果目標（定量的指標） 定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R7当初	R9末	R11末
1	持続可能な下水道事業の実現を図るため、ストックマネジメント計画に基づき計画的で効率的な長寿命化対策をおこなう。 ストックマネジメントに基づく管口点検調査実施率 点検箇所 / 点検が必要な人孔数（N=3,800）	0%	70%	100%
2	総合地震対策計画に基づき、伏越人孔の耐震化を進める。 耐震化工事実施箇所率 耐震化工事実施人孔数 / 耐震化工事が必要な人孔数（N=4）	0%	25%	100%
3	都市部における雨水貯留タンク設置個数を年40戸増加させる。 都市部における雨水貯留タンク設置率 雨水貯留タンク設置戸数 / 雨水貯留タンク設置目標戸数（N=200）	0%	60%	100%
4	下水道未普及エリアへの設置を進める。 下水道未普及エリア布設率 設置済み管延長 / 対象延長（L=1km）	0%	50%	100%

備考等	個別施設計画を含む	<input type="radio"/>	国土強靱化を含む	<input type="radio"/>	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	-----------------------	----------	-----------------------	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R07	R08	R09	R10	R11			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
水道・下水道事業	A07-001	下水道	一般	三田市	直接	三田市	管渠(汚水)	改築	下水道ストックマネジメント支援事業	老朽化対策事業(汚水管渠)	三田市						235		策定済
	A07-002	下水道	一般	三田市	直接	三田市	管渠(雨水)	改築	下水道ストックマネジメント支援事業	老朽化対策事業(雨水管渠)	三田市						60		策定済
	A07-003	下水道	一般	三田市	直接	三田市	ポンプ場	改築	下水道ストックマネジメント支援事業	管渠老朽化対策事業(ポンプ施設)	三田市						1,045		策定済
	A07-004	下水道	一般	三田市	直接	三田市	管渠(汚水)	改築	下水道総合地震対策事業	防災対策事業(汚水)	三田市						491		策定済
	A07-005	下水道	一般	三田市	直接	三田市	管渠(雨水)	改築	下水道総合地震対策事業	防災対策事業(雨水)	三田市						46		策定済
	A07-006	下水道	一般	三田市	直接	三田市	-	新設	新世代下水道支援事業	雨水貯留タンク設置補助事業	三田市						6		策定済
	A07-007	下水道	一般	三田市	直接	三田市	-	新設	下水道情報デジタル化支援事業	下水道情報登録事業	三田市						44		-

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R07	R08	R09	R10	R11			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
水道・下水道事業	A07-008	下水道	一般	三田市	直接	三田市	管渠(汚水)	新設	未普及対策	下水道管設置(汚水)	三田市						115		策定済
											小計						2,042		
											合計						2,042		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R07				
配分額 (a)	111				
計画別流用増 減額 (b)	0				
交付額 (c=a+b)	111				
前年度からの繰越額 (d)	5				
支払済額 (e)	0				
翌年度繰越額 (f)	0				
うち未契約繰越額 (g)	0				
不用額 (h = c+d-e-f)	116				
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	100				
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由	年度途中であり、支払いがないため。				

事前評価チェックシート

計画の名称： 次世代に引き継ぐ三田の下水道に向けて（４）（防災・安全）

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 1) 上位計画（総合計画、生活排水処理計画、都市計画等）との整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 2) 下水道の諸計画との整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 3) 関連する諸計画（ストックマネジメント計画等）と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 4) 地域の課題を踏まえて目標が設定されている。	○
I. 目標の妥当性 5) 必要性という観点から事業内容、整備箇所を位置付けている。	○
II. 計画の効果・効率性 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 2) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 3) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 4) 目標及び事業内容と計画区域等との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 5) 十分な事業効果が確認されている。	○
III. 計画の実現可能性 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
III. 計画の実現可能性 2) 関連する関係機関等の調整が図られている。	○
III. 計画の実現可能性 3) 事業実施に向けた機運がある。	○
III. 計画の実現可能性 4) 計画について住民等との間で合意が形成されている。	○

(参考様式 3)

(参考図面) 防災・安全交付金事業

